

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪府支部)

- ①コールサイン : **JH3HUR**
②氏名(フリガナ) : **松井 勉(マツイ ツトム)**
③年齢 : **70歳**
④職業 : **公務員**
⑤無線従事者資格 : **第4級アマチュア無線技士**

力を入れている無線活動

支部活動・運営支援

約40年にわたり支部役員として現場に身を置き、支部活動のお手伝い。

支部活動、地方本部・支部主催行事・事業に運営側として長年関与。

ARDF競技大会支援

大会の運営補助や環境整備に携わり、大会の継続と発展に貢献。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は約40年、支部役員として現場に身を置き、支部活動のお手伝いをしてきました。その中で常に意識してきたのは、「JARLが会員にとって身近で、参加しやすい組織であり続けること」です。現場で得た声や課題を、運営に反映させることこそが、私にできるJARLへの最大の貢献だと考えています。

支部活動をはじめ、地方本部および支部が主催する行事や事業には、参加者としてだけでなく、運営を支える立場として長年関わってきました。準備や調整といった裏方業務も含め、行事が円滑に進み、多くの会員が安心して参加できる環境づくりに努めています。

また、ARDF競技大会の支援にも携わり、運営補助や環境整備を通じて大会の継続と発展に貢献してきました。ARDFは無線技術だけでなく、体験を通じて学べる競技であり、若い世代が自然に無線に親しみ、仲間を得る貴重な場であると考えています。

さらに、電子工作にも継続して取り組み、子供向けの電子工作教室を主催するなど、技術の仕組みを「体験として伝える」活動を大切にしてきました。自ら手を動かし、成功や失敗を重ねる経験こそが、次世代の担い手を育てる基盤になると感じています。

今年、JARLは誕生から100年という大きな節目を迎えました。

これまで築かれてきた歴史を尊重しつつ、次の100年先のJARLを支えるのは、これから無線に関わる若い世代であると考えています。若手や初心者が参加しやすく、学び、挑戦し、やがて支える側へと成長できる環境を整えることが、今の私たちに求められている役割です。

約40年にわたる支部役員経験と現場感覚を生かし、世代をつなぐ架け橋として、地域活動と人材育成の両面からJARLの未来づくりに取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪府)

- ①コールサイン : **JG3DOR**
②氏名(フリガナ) : 河端 良治 (カワバタ リョウジ)
③年齢 : 61
④職業 : 国立研究開発法人職員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・移動運用(国内は全都道府県、約400市、約200郡から運用)
JD1BLU, WHOM, T880R, 4S7DOG, HL5/JG3DOR, BW/JG3DORでも運用
- ・国内コンテストは積極的に参加して楽しんでいます
- ・135kHz帯~10.4GHz帯まで運用(10GHz帯等でJARLの交信記録認定あり)
- ・電子工作(QRP送信機等)
- ・各地で行われているJARL支部の集い等への参加

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

社員総会を通じて支部役員等ではない会員の率直な意見を伝え、JARLやアマチュア無線界に貢献します。

◆Q S L 転送と電子化の課題

多くの方がQ S Lカードの転送を目的に入会されています。まずは、確実に迅速なQ S L転送を実施していただきたいと考えます。今年から転送業務の受託会社に変更されましたが、滞留分も含め、速やかに処理されることを望みます。

また、Q S L転送に多額の経費がかかっている現状には、不公平感があります。別料金化の検討も進めていただきたいと思えます。

さらに、連盟主導で国内向け電子Q S Lの共通規格を制定していただきたい。個人運営のh Q S Lでは将来性に不安が残ります。

◆財政健全化と情報公開

地方本部や各支部の財務諸表を公開し、透明性のある健全な運営を期待します。また、昨年の社員総会では組織改革案が否決されましたが、会員・社員の理解を得ながら改善されることを望んでいます。

◆アマチュア無線を長く楽しめる環境づくり

体験局の実績をアピールされていますが、実際に開局後どれだけの方が継続的に運用されているのかは不透明です。初心者が安心して交信を楽しめる環境整備に力を入れたいと考えます。

特に、FMモードで聞こえる不法局の交信は大きな問題です。関係省庁へのアマチュアバンド防衛、不法局対策を連盟としてもっと積極的に進めるべきです。

加えて、デジタル技術やネットワークと融合した通信、自作機器の実験など、多様なアマチュア無線の魅力を広くPRしていきたいと思えます。

◆社員は会員の代弁者であるべき員は会員の会員の代弁者

現在は支部関係者が多くを占める社員構成となっており、一般会員の意見が届きにくい状況です。もっと幅広い層から選出される仕組みが必要だと考えます。

みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 京都府)

- ①コールサイン : **JK30TH**
②氏名(フリガナ) : **山縣 有樹 (ヤマガタ ユウキ)**
③年齢 : 56歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

ネット、SNSでのアマチュア無線啓蒙活動

ニューカマー、再開局者への情報発信とサポート

全国を行脚してのアイボールミーティングの積極的な主催と広域交信サービス

安価な設備でのDXチャレンジとその成果の展開

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・「開かれたJARL」を象徴するような積極的な情報発信を、ネット・SNSを通じて展開することができます。
- ・YouTube、X (Twitter)などの積極活用により、新しい世代へのアクセスを可能にし、JARL会員の増加と広報の質・量の向上を約束します。
- ・また、アイボールミーティングを各地で主催し、会員との交流を深め、アマチュア無線の振興に尽力します。
- ・自作アンテナなどのアイテムや簡易な無線設備による海外DXなど、チャレンジングな実験をネットで配信して無線趣味の素晴らしさを訴求します。
- ・ハンディ機しか所有していないような入門者でも楽しめるアマチュア無線のイメージの醸成を実施します。
- ・全国、世界中のYouTuberと連携し、アマチュア無線、JARLの広報活動を展開します。

以上のようなネットとアマチュア無線の融合による開かれた情報発信を推進し、「新しいJARL」としてイメージアップに貢献します。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 兵庫県支部)

- ①コールサイン : JA3NDM
②氏名(フリガナ) : 藤原 美和 (フジワラ ヨシカス)
③年齢 : 75才
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・常置場所の山頂からはV/UHF帯から5.7GHz/10.1GHz/24GHz等SHF帯を運用し、自宅の設置場所からは主にHF帯を運用。
- ・全日本・関西地方ARDF競技大会の協力。
- ・クラブ局JA3ZZP局運用管理、JL3ZPO局(5GHz/10GHz)六甲南ビーコンクラブ構成員、430MHz/1.2GHzのレピータJR3VK局構成員、日本で唯一の29MHzFMレピーターJP3YHY局を自宅に設置しての運営管理。
- ・真空管式送受信機と戦前のラジオ収集とメンテナンス、修理など。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・ 関ハムシンポ(関西ハムシンポジウム)の参画から実行委員を含む、兵庫県支部行事全般における協力。



- ・ 関ハム(関西アマチュア無線フェスティバル)のスタッフとして協力。
- ・ ARDF審判員の講師。
- ・ JARD 養成課程の管理責任者。
- ・ 全日本／関西地方ARDF競技大会の実行委員、審判員としての全面協力。
- ・ 今年2026年11月9日～14日に開催の第12回IARU Region 3 ARDF選手権大会が滋賀県龍王町と一部京都府で開催されます。これの「ARDF委員会IARU Region3ARDF選手権大会準備分科会委員」を既に森田JARL会長より委嘱されおり、久しぶりにアジアで開催されることもあって、日本としては何としてでも成功に寄与したい。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 兵庫県)

- ①コールサイン : JL3JRY
②氏名(フリガナ) : 屋田 純喜(オクダ ジュンキ)
③年齢 : 54歳
④職業 : 地方公務員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士 FCC Amateur Extra

力を入れている無線活動

- ・ 関西アマチュア無線フェスティバル(KANHAM)の実行委員長
- ・ 海外との交信を目指すこと(DXCC Award 338)
- ・ JA3RL(大阪池田市)を活用した公開運用のサポート
- ・ コンテストなどを中心とした移動運用

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

「関西地域区内の社員立候補」(所信表明)

関西地域区内の社員に立候補いたしました。JL3JRY屋田(おくだ)と申します。関西アマチュア無線フェスティバル(KANHAM)の実行委員長を21年連続で担当させていただいております。そしてDX・コンテストとアマチュア無線を1番の趣味として楽しんでいます。今回のJARL社員選挙において、引き続きご支持を賜りますようご挨拶申し上げます。

【立候補への思い】

アマチュア無線の魅力を発信するJARLは、大きな転換期を迎え組織改革や若者支援など、減少傾向にあるアマチュア無線の発展のためにさまざまな取り組みが行なわれています。今年JARL創立100周年の記念する年にあたり、「アマチュア無線のグローバルな世界」という大きな魅力を、さらに広く一般の方にも体験してもらえるような活動などにお手伝いできればと思います、引き続き社員選挙に立候補いたしました。

さて、大阪・関西万博が5年ぶりに再び大阪で開催されました。万博協会をはじめ、さまざまな交渉を重ね「8K3EXPO」という初の「8K3」プリフィックス、そして運用ブーストとアンテナ設備をリモート運用で構築するという新しい方式で184日間の連続運用を成功することができました。大阪・関西万博特別記念局の目標は、「運用局数」ではなく「体験運用者数」にこだわること、最終的には2,500名を超える一般来場者がアマチュア無線を体験していただけたこと。万博記念局委員として、一番感じたことは、「アマチュア無線にはまだまだポテンシャルがある」というアマチュア無線の未来への展望です。

アマチュア無線は古い技術や趣味ではなく、アイデアや工夫を少し加えることで、まだアマチュア無線を知らない方に、世界中につながるといふ大きな魅力と感動を伝えることができると考えています。

投票のお願い

例年関西地域区内社員は選挙となっています。残念ながら組織票がないため今回の選挙での苦戦を予想しています。皆様の1票を私、JL3JRY屋田へ投じていただければ幸いに存じます。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 兵庫県)

- ①コールサイン : J R 3 V A K
②氏名(フリガナ) : 深谷 満 (ミタニ ミツル)
③年齢 : 68歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士、第二級陸上特殊無線技士

力を入れている無線活動

- ・ J A R L 兵庫県支部運営委員
- ・ 移動運用

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は J A R L 兵庫県支部の運営員として、以下の活動を実施しています。

- ・ 関西ハムシンポジウムのスタッフを含む、兵庫県支部の行事に協力しています。
- ・ 関西アマチュア無線フェスティバルのスタッフとして協力しています。
- ・ アマチュア無線家の裾野を広げていくための活動として、J A R D 養成課程の管理責任者を担当しています。

今後は、以下の活動を実施します。

- ・ 万博記念局の運用スタッフを経験し、記念局、体験運用がアマチュア無線の裾野を広げていく上で重要な取り組みであると痛感しました。アマチュア無線の体験機会を増やしていくよう取り組みます。
- ・ J A R L のこれからの100年に向けた事業、活動の計画、実施に対する提言をしていきます。
- ・ J A R L 定時総会の議事に対しては常識ある判断、対応をします。
- ・ 現在の J A R L 会員の皆さんが満足できる J A R L になるよう、また、新たな会員が増加する J A R L になるよう取り組みます。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 奈良県)

- ①コールサイン : JH3KCW
②氏名(フリガナ): 吉川 寛(ヨシカワ ヒロシ)
③年齢 : 71歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

アマチュア無線大好きです。

奈良県支部役員として、アマチュア無線発展の為に活動にも力を入れています。

個人的には、現在、主にFT8モードの運用にはまっています。約5万局の方々と交信ができました。海外運用ではスリランカに3回行き「4S7KCG」のコールサインで運用しました。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

元奈良県支部長として11期22年間を、支部役員ならびに支部会員みなさまの絶大なご理解とご協力のもと、アマチュア無線と奈良県支部発展のため、精一杯、その職務を務めさせていただくことができました。

JARL組織は、その足下を支える支部組織運営が重要です。現奈良県支部長のJN3ANO南賢一氏に、過去の支部データや運営ノウハウを、ほぼ引き継ぐことができました。

趣味のアマチュア無線の基本は個人的なものです。それ以上に、イベントに参加するなどの会員間のコミュニケーションが大切だと考えています。「体験運用」の実施などを通して、若いアマチュア無線家の育成なども推進します。

多数のJARL会員の皆様ともお会いができ、様々なご意見等も伺っています。これらの要望やお考えを、私なりに整理をして社員としてJARL運営に反映をさせて行きます。

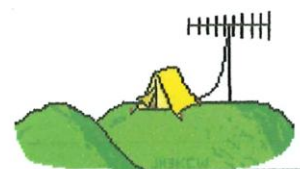
今後も引き続きJARLの健全な発展のため努力を惜しまず、前向きな取り組みをしてまいります。みなさま、どうぞ宜しくお願いいたします。

1971年開局以降55年間連続でJARL正員です。

<http://www.dental.gr.jp/web/jh3kcw/>

jh3kcw@jarl.com

JH3KCW 吉川 寛



令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 京都府支部)

- ①コールサイン : **JF3PLF**
②氏名(フリガナ) : 杉浦 雅人 (スギウラ マサト)
③年齢 : 65歳
④職業 : 教員
⑤無線従事者資格 : 2アマ・2陸特・FCC Extra

力を入れている無線活動

- ◆国内・海外交信 : 1.9~1200MHz帯に常時QRV可 WACA/WAGA/DXCC/WAZ/WAS
- ◆国内・海外移動 : JCC/JCGサービス、十数エンティティーからの海外運用
- ◆青少年の育成 : ARISSの実施、記念局の開設運用、講習会講師、体験運用実施
- ◆無線の発展・振興 : JARL京都府支部役員・JARL京都クラブ理事・8K3EXPO運用委員

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARL、日本のアマチュア無線がそれぞれ100周年の節目を迎えます。一方で、高齢化が進み、若者の無線離れが顕著です。しかし、私達が若かりし頃、「趣味の王様」と言われたアマチュア無線の魅力は、今でも十分に魅力的です。アマチュア無線をさらに魅力あるものにしていくこと(変革・発展)、また、その魅力を広く伝えていくこと(普及・振興)が、私達の使命です。

— 私の主張(例えば、『こんなことができたらいいな』と考えています) —

- ◆変革・発展◆ ①電波法は、アマチュア業務について、「…もっぱら個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び技術的研究…をいう」と規定しています。この理念を実現するためには、**アメリカ式包括免許**(従事者免許の交付とともに呼出符号が指定され、所持する資格の範囲であれば自由にアマチュア業務が行える)が理想です。
②DXコンテストにおける**コンテストコール**(M6T、VL4A、9A1A等)の使用は、今や「世界標準」です。日本のような長いコールサインでは、世界のコンテストステーションと対等に勝負できないだけでなく、コンテストの醍醐味も半減します。コンテストコールの発給を、行政に代わってJARLが行えるようにすれば、臨機応変な対応が可能です。
- ◆普及・振興◆ ①アマチュア無線の歴史を受け継ぐ青少年の育成は急務であり、私達の願いです。**青少年対象の講習会実施**に加えて、**免許取得後のサポート**が重要です。これらは、地域クラブと連携し、すでにJARL京都府支部で取組を始めています。
②多くの人は、「アマチュア無線」を知りません。また、免許を取得したとしても、「開局」は次の壁です。多くの地域に、気軽に**アマチュア無線を体験できる場**があれば、とてもステキです。池田市民文化会館のロビーに常設されたJARL関西地方本部の**JA3RL**や、大阪・関西万博で運用された**8K3EXPO**は、成功例として大いに参考になります。

同じ願いを持つあなたとともに、トップダウンではなく【会員⇒社員⇒理事(会長)⇒行政】というボトムアップで、JARLを、アマチュア無線を、大きく発展させていきたいと思います。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 滋賀県支部)

- ①コールサイン : JK3IJQ
②氏名(フリガナ) : 大東 治宜 (ダイトウ ハルヨシ)
③年齢 : 61才
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

滋賀県内を中心にした移動運用(1,500交信/月)
JARL滋賀県支部のクラブ局の定期運用
関西地方本部JA3YRLの定期運用
記念局の提案、企画と運用

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

●交流の場の企画と実行

滋賀県支部で毎年開催しているハムのつどいを継続して開催します。

皆さんがご興味を持たれている内容を題材にした技術講習会を実施します。

滋賀県内の行事に合わせた記念局を企画し運用します。この記念局の公開運用や体験運用を通じて皆様の交流の場や次世代ハムの発掘の場になるようにします。

●QSL転送時間の改善

電子QSL(hQSL)利用者を増やし、紙QSLの転送量を減らすことによりQSL転送時間が改善するようにします。このためのhQSLについて技術サポートを積極的に行います。

●カムバックハムのサポート

以前、カムバックハムの方々から運用についての問い合わせをいただきサポートさせていただいています。このように困っておられるカムバックハムがたくさんおられると思います。この方々がスムーズに戻ってこられるように今後もサポートを続けていきます。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 京都府)

- ①コールサイン : JH3TXR
②氏名(フリガナ) : 山本 祥三 (ヤマモト ショウゾウ)
③年齢 : 67歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 1アマ、1陸技、1海通、航空通、FCC Extra(KF8TW)

力を入れている無線活動

- ・コンテスト、DXペディション、国内移動運用等の多様な運用形態の追求。
- ・JARL京都府支部と連携で、地域クラブの運営と活性化。
- ・JARL京都府支部行事への参加、支部活動の支援。
- ・次世代のアマチュア無線家の育成。
- ・アマチュア無線による社会貢献活動。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

今、JARLが抱える重要な課題として、アマチュア無線人口の減少、それに伴うJARL会員の減少、会員の高齢化があります。原因は、社会や若者に対して、アマチュア無線の魅力のPR不足と考えます。

私は、「いつも新しい事は京都から」をモットーに活動をしてきました。これらの経験を活かし、JARLを通じ、若者人口の増加の新しい仕組みを構築し、社会にアマチュア無線の魅力と有益性を伝えて行きます。

具体的に以下の項目を実行します。

(1)若者育成の活動(活性化)

京都で18歳未満を対象にした4アマ講習会を実施。講習会前に体験局、講習会後の定期的フォローを定着させ、子供たちが実際にアマチュア無線を始めてもらえる活動をしてきました。

関西万博特別局8K3EXPO、青少年のための科学の祭典などイベントで、体験運用の実施、免許取得して間もない子供たち(ハムエッグ)に運用機会の提供と運用サポートを実施してきました。

今後もこれらの活動を継続するとともに、活動範囲を広げ、得られたノウハウをJARLの活動に活用してもらうように提案していきます。

(2)アマチュア無線の社会貢献

支部と地域クラブと連携し、行政(京都府)と合同で防災訓練の実施など対外組織を巻き込んだ社会貢献活動を実施してきました。今後もアマチュア無線の社会貢献活動として継続していきます。

さらに、他支部とも情報交換し、連携、展開をしていきます。

(3)OM会員の知識の活用とOMの復活支援

上記を実現するためには、現役のOM会員の知識や経験を活用する必要があると考えます。

また、いろいろなイベントで過去にアマチュア無線をしていて復活を希望されている方が多くいらっしゃることを知りました。カムバック組の支援も必要です。これらの視点からも、アマチュア無線の活性化につなげます。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪)

- ①コールサイン : JA3WDL
②氏名(フリガナ) : 井村 厚(イムラアツシ)
③年齢 : 74才
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・V・UHF(電話)をアマチュア無線を楽しんでいます。
- ・JARL大阪府支部やKANHAM実行委員として、諸取り組みに参加しています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

所 信

7期にわたる社員へのご支援をいただき、社員総会に出席して審議に加わるだけでなく、地域クラブでの世話役や所属支部 及び 地方本部の中で、役割を担って来ました。

皆さん方には、この間のご支援、誠にありがとうございました。

JARL 会費の有効な使い方をチェックするのは勿論のこと、身の丈にあった会員が納得できる、メリハリのある支出を目指さなければなりません。

具体的には

・交信証のビューロ転送制度を守り抜きたいです。転送遅延の解消について、会員の皆さんにも訴えます。ビューロでの作業効率を上げる取り組みでは、各種コンテストでの、無差別的な交信証発行を今後も控えること。また交信証発送時に、交信証を局名録順に並べることなど、ちょっとした配慮を会員に求める活動も強化していきます。

・若いハムの JARL 入会・会員化をこれからも目指します。アマチュア無線の世界に入ってきた状況はそれぞれ異なると思いますが、優しく丁寧な係わりを普段から目指します。そのためには、JARL 登録クラブ活動の質と量的な拡大がなによりも重要です。KANHAM 会場などでの「JARL 何でも相談」でも、これからも奮闘をします。

皆さん、更に楽しいハムライフを送って行きましょう。

『社員選挙投票』へのご支援を、よろしくお願い申し上げます。